

令和4年6月26日
今週のベストショット



青松園B 雁の巣ライナーズ 対 三苦ホーネッツ
新たな打順でも三苦ホーネッツ広木選手の豪打爆発満塁弾！
写真：ブルーマーリンズ 山本 憲明

奈多グラウンド 三苦フレンズ吉田選手の投打の活躍でノーヒット完投勝利！

三苦フレンズ（2勝1敗1分）0 1 3 1 0 0 3 8 吉田○ー佐藤（由）

和白新町パイレーツ（3敗）0 1 1 0 0 0 0 2 若吉●ー大濱

HR：吉田、佐藤（由）（三苦フ） **2BH**：吉田、佐藤（由）（三苦フ）

初回、三苦フレンズ、和白新町パイレーツ共に無失点で抑えたが、二回表、フレンズ吉田選手の右中間への弾丸HRで先制したが、パイレーツの若吉投手は後続を抑え1点止まり。その後パイレーツは四球とフレンズのエラーにより得点するが、三苦フレンズ吉田投手の好投により抑えられる。フレンズは追加点を取り七回には佐藤（由）選手が右中間へとどめのHR。パイレーツはフレンズ吉田投手のライズボールを打ち崩す事ができずノーヒットに抑えられた。結果、三苦フレンズ吉田投手の投打の活躍が光ったが、その陰で女房役の佐藤（由）捕手も二塁打、HRと好リードで光っていた。

（記事・写真：ソルトベイスターズ 山ノ川 史教）



二回表、三苦フレンズ吉田選手のHR。



打ち取る和白新町パイレーツ若吉投手。



二回裏、和白新町パイレーツ同点ホームイン。



三苦フレンズ佐藤（由）選手のHR。



二塁打、HR、無安打完投の三苦フレンズ吉田投手。

青松園B 大きなアーチが飛び出す見応えある試合

雁の巣ライナーズ (3敗) 0 1 0 0 0 0 1 有馬●、今林ー上村

三苫ホーネッツ (3勝1分) 1 0 7 0 1 X 9 塚、平川○ー広木

HR: 広木、塚、川原 (三苫ホ) 盗塁: 今林 (颯) (雁の巣) 山崎 (三苫ホ)

初回雁の巣ライナーズの攻撃は、死球から走者を二塁まで進めるも後続が倒れ無得点で終える。対する三苫ホーネッツの初回の攻撃は、四球と稲葉選手のレフト前安打でチャンスを広げ1点を先制する。二回表、ライナーズは2つの四球からチャンスを広げ、ショートのエラーの間に同点とする。三回裏、ホーネッツの攻撃は一死から三連打でチャンスを広げ、七番平川選手のライトへの犠飛により1点を勝ち越す。さらに四球でチャンスを広げ、二死満塁の状況で、一番広木選手のレフトスタンドへ飛び込む特大の満塁ホームランで4点。さらに続く二番塚選手もレフトスタンドへ運び、二者連続のホームランで一挙に7点を追加する。三回表よりホーネッツは塚投手から平川投手に変更し、平川投手は走者を背負いながらも要所を詰めて相手の強力打線を最後まで0点に抑える力投を見せる。一方、敗れたライナーズはヒットや四球からチャンスを広げるもあと1本が続かず、惜しい敗戦となった。点差以上に引き締まった見応えのある試合となった。(記事:ブルーマーリンズ 江頭 秀一、写真:山本 憲明)



三苫ホーネッツ先発の塚投手。



雁の巣ライナーズ先発の有馬投手。



三回裏、一番広木選手の満塁ホームラン。



続く塚選手もホームラン。



五回裏、川原選手のランニングホームラン。



ホーネッツ平川投手が三振に打ち取りゲームセット。



ホーネッツの本塁打トリオ、川原、塚、広木選手。

青松園A シーズーゲームを制したのは…

塩浜ジャガーズ（1勝1敗1分） 4 0 0 1 2 7 立石●ー狩野
 奈多サンデーズ（3勝1分） 2 1 0 3 2 X 8 砂場、江口○ー八島

HR：狩野（塩浜ジ） 2BH：一之瀬、内田（塩浜ジ）

一回表、奈多サンデーズ砂場投手の制球が定まらない中、無死満塁から塩浜ジャガーズ四番内田選手の右中間へのタイムリー二塁打などで幸先よく4点を先制。対するサンデーズは二回までに連続四死球に相手エラーが絡め3点を返す。四回表ジャガーズは、先頭の一ノ瀬選手の二塁打を皮切りに、竹尾選手の送りバント、立石選手のセンターへの犠牲フライで、5-3とリードを広げ、流れはジャガーズか

と思われたが・・・。四回裏サンデーズは、先頭バッターへの四球を足掛かりに、川原選手のチーム初ヒットによりチャンスを作ると、二番宮口選手のレフト前タイムリーで同点。さらにランナーを三塁において、江口選手のしぶといセカンドゴロの間に勝ち越し、この試合初めてサンデーズがリード。5回表サンデーズがリードし勢いに乗ったかと思われたが、一死からジャガーズベテランの六番佐藤選手がレフト前ヒットで出塁。その後なんと七番猪野選手の値千金のレフトオーバー逆転2ランHRで再びジャガーズがリード。ベテランと若手のコラボレーションで勢いを取り戻したジャガーズがこのまま試合を終わらせるかと思われた。しかし五回裏、今期負け無しのサンデーズの底力が発揮される。先頭近藤選手が死球で出塁。続く六番砂場選手がセンター前ヒットを放つと、この時一塁ランナーの近藤選手が、センターの一瞬のスキを見逃さず一気に三塁へ。無死一三塁からワイルドピッチで同点。この間に一塁ランナーの砂場選手の好判断で三塁を陥れる。サヨナラのチャンスに一死からやはりこの男、『代打俺』田中監督が自ら打席に。バッターボックスでの佇まい・・・雰囲気は立派であったが一球であっさり仕留められ二死。最後は、先ほどヒットの九番川原選手が打席の時にまたもワイルドピッチ！三塁ランナーの砂場選手がベッドスライディングで劇的サヨナラのホームイン。投手戦とはいかないまでも大接戦のシーソーゲーム！最後までわからない面白い試合でした！（記事・写真：三苦三球会 原口 剛）



奈多サンデーズ先発の砂場選手。



塩浜ジャガーズ先発の立石選手。



先制タイムリーのジャガーズ内田選手。



最終回リードを奪う2ランのジャガーズ猪野選手。



最終回強さを見せるサンデーズ監督自ら...代打俺！。



試合を決める砂場選手のヘッドスライディング！